

桜すくら

S A K U R A S A K U R A

新任の御挨拶 — p1

トピックス — p2

新入職員紹介 — p2-4

2020年度のデータ — p5-6

栄養課コーナー — p7



順心リハビリテーション病院に入職するにあたって

順心リハビリテーション病院

内科医師 中道恒雄



今年の4月からお世話になっております中道恒雄と申します。

はじめましての方も多いと思いますが、中には、過去にご一緒した方もいらっしゃると思います。以前は、県立加古川病院、加古川市民病院に在籍しておりました。

直近の前任地は相生市にありますIHI播磨病院に勤め、毎日片道1時間半ほどかけて通勤。年齢的にも、かなり重労働になっていました。

そんなある日、今年2021年の1月13日に、突然の呼吸困難に陥り、救急車で加古川中央市民病院に搬送、入院しました。昨今の時世の折、無論新型コロナウイルスも疑われ、2日間、ICUに隔離対応となり3回のPCR検査ののち、陰性と判断されました。

その後、一般ICUに転床後1週間を経て、ようやく程なくして一般病棟に移りました。最終診断の病名は特発性肺・肺胞出血ということでした。

退院後はしばらく、在宅での酸素療法を余儀なくされ、勤務など今後についてどうしようか、と思案することとなりました。

その際、前病院であるIHI播磨病院の名誉院長であり主治医の荒川先生とも相談の上、自宅に近い順心リハビリテーション病院での勤務話が出てまいりました。

社会医療法人社団順心会の理事長である栗原先生、順心リハビリテーション病院長の小畑先生、岡事務長と面談させていただき、何とか、4月から当院にてお世話になることができました。

わたくし個人、週3回の透析と、度重なるシャント造設の失敗で左手が十分に使えませんが、できるだけ、力になれるように精進していきたいと思っております。今後は、今までの糖尿病の専門医としての経験を活かし、医療療養病棟の主治医を主軸として頑張っていきたいと思っております。

順心会はSDGsの趣旨に賛同いたします。

SDGsとは？



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域の医療・介護・福祉を継続的に
成長・発展させ次世代に引き継ぐ

JUN
SHIN

社会医療法人社団

順心会

持続可能な開発目標 (SDGs Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

排尿自立支援加算について

診療支援部 リハビリ課

下部尿路機能の回復のための包括的な排尿ケアに対する診療報酬上の評価として、2016年度診療報酬改定において排尿自立指導料が設けられました。2020年度の改定では新設の排尿自立支援加算として算定可能な入院料が拡大され、指導料として算定可能であった従来の「療養病棟入院基本料」等に加えて「回復期リハビリテーション病棟入院料」等で加算として新たに算定可能となりました。

これは尿道カテーテル抜去後に生じ得る下部尿路機能障害に対して、医師、看護師、介護士、セラピスト等が包括的に排尿ケアを評価・実施するものです。下部尿路機能障害を回復させ排尿自立を促すことが、生活の質の向上や健康寿命の延長に寄与することとなります。

当院でも2021年度中の算定に向けてマニュアルを作成し、現職者研修を実施してきました。今後は、急性期医療機関で尿道カテーテルを留置した方が当院に入院中にカテーテルを抜去し、退院後に排泄が円滑にできるよう、より支援に力を入れていきます。



2021.5.18 佐伯慎太郎

新入職員 紹介



理学療法士

患者様に寄り添い、この人になら安心して任せられると思っていただけのような、なんでも相談しやすく接しやすい理学療法士を目指していきます。

大矢 隆弘



理学療法士

思いやりの心と笑顔を忘れず、患者様の思いに寄り添えるセラピストを目指します。先輩方にアドバイスを頂きながら日々精進していきたいです。

北村 亜美



理学療法士

患者様に寄り添い、信頼して頂けるような理学療法士を目指したいです。そのために、先輩方の知識等を吸収し、実践できるように日々努力します。

平野 園巴



理学療法士

患者様によりよい在宅生活を過ごして頂けるよう日々学び続け、患者様の笑顔を支えられるように努力します。

安平 有希

新入職員 紹介



理学療法士

患者様が進んでリハビリに参加して頂けるように、会話や環境づくりをしていきたいと思っています。

吉田 盛也



理学療法士

私は、信頼される理学療法士になれるように日々成長していきたいと思っています。

谷河 雄大



理学療法士

全ての方に最良な理学療法を提供し、患者様、ご家族様に「あなたが担当で良かった、ありがとうございました。」と言われる理学療法士が目標です。相手を尊重する気持ちを忘れず、確かな技術、知識を身に着け、日々精進します。

宮脇 陵



理学療法士

患者様からもセラピストからも信頼・安心出来るような理学療法士が目標です。そのために、挨拶や表情等一人の社会人としてふさわしい言動をとるように心がけていきたいと思っています。

山田 虎楠



理学療法士

地域の方々のためにリハビリテーションを通して貢献できるセラピストになりたいです。先輩等から多くの知識を学び、地域、患者様へ還元したいと思っています。

山本 匠馬



作業療法士

患者様の生きがいを大切にしたいです。コミュニケーションをとりながら各患者様の望む生活に注目し、先輩方にアドバイスを頂き、作業療法士としてできることを一生懸命思索したいと思っています。

小林 優菜



作業療法士

患者様やご家族様が前向きな気持ちで生活を送れるようサポートしていきたいです。そのため先輩方の様に、日々笑顔で仕事に取り組んでいきたいと思っています。

西田 有希



作業療法士

患者様に真摯に向き合い、信頼される作業療法士を目指します。そのために、日頃からコミュニケーションを大切にしていきます。

木下 茉奈



作業療法士

コミュニケーションを大切にすると共に、患者様を尊重し、信頼される作業療法士になりたいと思います。状態を明確に把握するための知識、技術を磨き、意欲的に取り組んでもらえるリハビリ提供を目指します。

柴田 浩理



作業療法士

患者様から信頼・必要とされるセラピストを目指します。そのために、患者様に寄り添い、ニーズに合ったリハビリが提供できるよう知識や技術を身につけ、日々成長し努力に励みたいと思っています。

渋谷 静

新入職員 紹介



作業療法士

患者様が再び望む形で生活されるには、自分は何ができるかを考え、最善の方法を模索・提供する作業療法士を目指します。そのために知識や技術を深め、患者様と真っ直ぐ向き合い、リハビリを提案していきます。

高見 唯



作業療法士

患者様に信頼されるセラピストになりたいです。そのために技術や知識を身につけ、関わりを大切にしたいと思います。

内村 友美



言語聴覚士

信頼される言語聴覚士を目指します。質の高いリハビリを提供出来るよう専門知識や経験を積み重ね、また患者様一人一人に誠実に向き合いたいです。

上田 啓司



言語聴覚士

患者様が前向きにリハビリを行える言語聴覚士になれるよう、先輩方から学び、真摯に取り組んでいきたいです。

渡辺三奈美



看護師

看護師としての基本的な知識、技術を身につけ、患者様の気持ちに寄り添える看護師を目指します。

歌野 星斗



看護師

知識、技術を高め、患者様の心に寄り添い、信頼される看護師になりたいです。一生懸命がんばります。

吉岡 優市



看護補助

業務内容を正確に覚え、常に患者様に寄り添い、患者様やスタッフに信頼されるようになりたいです。

泉住 心愛



看護補助

私は笑顔を決やさず、1日でも早く、先輩の技術を学び一人前として活躍できるように頑張っていきます。

熊谷 優香



看護補助

看護師を目指して、この病院で看護師の行動や患者さんへの対応方法を勉強していきたいと思っています。

泉口こころ



看護補助

患者様の状態の変化に早く気が付けるよう、日々の挨拶やコミュニケーションを大切に頑張りたいです。

村上日菜多

2020年度のデータ

回復期リハビリテーション病棟のFIM利得の状況

FIM		2019年度			2020年度			2020年度 全国平均
		回リハ病棟 入院料1		回リハ病棟 入院料3	回リハ病棟 入院料1		回リハ病棟 入院料3	
全 体	入院時FIM	64.7		70.0	61.7		63.7	66.8
	退院時FIM	88.9		95.1	87.9		90.4	90.9
	利得	24.2		25.1	26.2		26.7	24.1
脳血管疾患	入院時FIM	62.8		65.5	59.2		62.5	61.3
	退院時FIM	86.8		89.1	85.4		89.2	85.3
	利得	24.0		23.6	26.2		26.7	23.9
運動器疾患	入院時FIM	69.1		77.5	66.5		67.3	72.6
	退院時FIM	92.1		104.8	93.9		93.6	97.8
	利得	23.0		27.3	27.4		26.3	25.2
廃用症候群	入院時FIM	62.3		70.5	67.3		55.3	57.6
	退院時FIM	93.3		97.4	88.5		83.9	75.1
	利得	31.0		26.9	21.2		28.6	18.4

FIM(機能的自立度評価法)：日常的な基本動作が自分でできているかを評価するもので高いほど自由度が高い 126点満点
 利得：入院期間内に日常生活活動(FIM)が改善した点数(退院時FIM-入院時FIM)
 全国平均データは、回復期リハビリテーション病棟協会調査報告書より抜粋

回復期リハビリテーション病棟でのリハビリテーション実施時間数

1日平均 リハ時間	2019年度						2020年度						2020年度 全国 1日平均
	回リハ病棟 入院料1			回リハ病棟 入院料3			回リハ病棟 入院料1			回リハ病棟 入院料3			
	平日	休日	平均	平日	休日	平均	平日	休日	平均	平日	休日	平均	
リハ単位数	8.0	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.7	7.8	7.7	6.6
実施時間(分)	160	158	158	158	158	158	158	158	158	154	156	154	132

リハ単位：1単位は20分
 全国平均データは、回復期リハビリテーション病棟協会調査報告書より抜粋

医療療養病棟でのリハビリテーション実施時間数

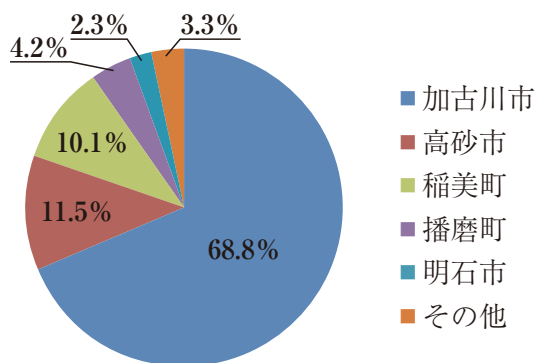
1日平均リハ時間	2019年度	2020年度
	医療療養病棟	
リハ単位数	2.5	2.4
実施時間(分)	50.0	48.0

リハ単位：1単位は20分

新規入院患者

総数	713名
回復期リハビリテーション病棟	576名
医療療養病棟	137名

居住地別割合



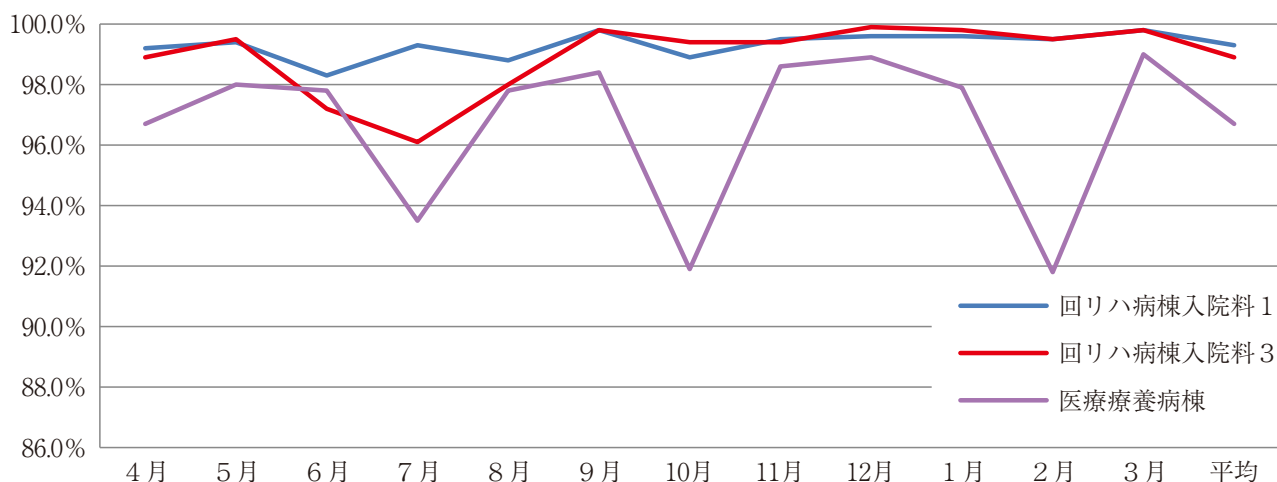
平均年齢

回復期リハビリテーション病棟	76.4歳
医療療養病棟	80.3歳

平均在院日数

R 1 年度			R 2 年度		
回りハ病棟入院料1	回りハ病棟入院料3	医療療養病棟	回りハ病棟入院料1	回りハ病棟入院料3	医療療養病棟
67.9	79.4	122.8	72.6	74.0	156.2

病床利用率



回復期リハビリテーション病棟の新規入院患者の疾患別割合

疾患別区分	当院	全国
脳血管疾患	62.2%	45.1%
運動器疾患	28.1%	46.8%
廃用症候群	6.6%	6.5%
神経・筋・靭帯損傷	0.0%	1.6%
股・膝関節置換術後	3.1%	

(全国はR 2年 8月データを使用)

回復期リハビリテーション病棟の退院経路

退院経路	当院	全国
自宅	74.8%	79.1%
老健施設・福祉施設	7.7%	6.7%
院内他病棟・転院	2.0%	7.6%
転院・転棟(急変により)	15.5%	6.6%
死亡	0.0%	

(全国はR 1年 8月データを使用)

栄 養 課 コ ー ナ ー

当院では3年後に予定した病院移転に向け、新病院設立理念の一つに「災害と感染症に強い病院」を掲げており、栄養課は備蓄食の充実を計画しています。

災害対策においては、最低3日以上非常食の備蓄が推奨されており、当院でも万が一の事態に備え、少しずつですが備蓄食を確保し、併せて、食品だけでなく使い捨て食器も1週間分確保しています。

その他、昨今はコロナ禍ということもあり、災害時だけでなく、感染拡大防止ができるよう取り組んでいます。

また、当院では機能回復を目指し、リハビリテーションを多く実施するため、高齢の患者様や嚥下障害を呈する患者様も多数入院されています。

なので、そういった方の食事形態を考慮し、手軽に摂取可能な食品を備蓄できるよう、すすめていきたいと思えます。



基本理念

質の高いリハビリテーションを通して地域医療に全力をつくす

基本方針

1. 患者さま、ご家族さまの権利と要望を尊重し、安全・納得のいく医療・生活リハビリテーションをめざします。
2. 地域連携を密にし、チーム医療によるサービスの継続・向上をめざします。
3. 人材育成、成長に向けて教育研究の推進を図ります。
4. 経営参画意識をもって業務を遂行します。
5. 在宅系サービスと連携して、地域リハビリテーションを推進します。

病院概要

建物構造 / 鉄筋コンクリート4階

病床数 / 180床

2階・3階(回復期リハビリテーション病棟)120床
4階(医療療養病棟)60床

地域連携室

TEL : 079-438-3205

FAX : 079-438-3206

平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00

広報誌に関する問い合わせその他ご意見等ありましたら
まずは上記までお電話ください。

社会医療法人社団 順心会 順心リハビリテーション病院

〒675-0005 兵庫県加古川市神野町石守1632

TEL(079)438-2200 FAX(079)438-6085